

きずな



平成30年6月15日

我孫子市少年センターだより 第153号

我孫子市少年指導連絡協議会

会長

飯山 初美

我孫子市少年センター

センター長

戸塚美由紀

電話 04-7185-1367

FAX 04-7182-5867

紫陽花の花が色鮮やかな色を見せる季節となりました。5月には小学校の運動会が行われ、子どもたちが元気に競技や応援をしている姿が見られました。中学校においては、修学旅行や林間学校などの校外学習が実施されました。学校を離れ、古都や自然の中での貴重な体験から、多くのことを学び、大きく成長したのではないのでしょうか。

子どもたちが安心して生活できる環境をつくるため、保護者や地域の皆様とともに活動していきたいと思えます。今年度も子どもたちに「愛の一声」をかけていただき、見守りをお願いいたします。



我孫子市少年センター・職員紹介

○平成30年度の少年センター職員は以下のとおりです。

センター長 戸塚美由紀
指導主事 齊藤絵里香
嘱託職員 佐藤幸男
嘱託職員 松尾奈緒美



市内では、この4月に小学校939名、中学校1060名の新入生を迎えました。「未来ある我孫子の子どもたち」の健全育成と非行防止のために、全力を尽くしていきたいと考えています。よろしく願いいたします。

平成30年度 我孫子市少年センターではこんな活動をします。

1.我孫子市の青少年をめぐる現状と課題を把握し、改善方策を立案する。

- 学校教育と連携し、現状を把握する。
- 広報紙・HPを活用し、社会の中で規範意識を醸成するような支援及び情報提供をする。

2.我孫子市の青少年が、良好な社会環境の中で自立できるように環境浄化を行う。

- 我孫子警察と連携し、青少年の飲酒・喫煙・薬物乱用防止に向けた巡回を行う。
- 情報メディアを悪用した犯罪に巻き込まれないように青少年に届くメッセージを送る。



3.我孫子市の青少年が、社会の中で良好な人間関係が築けるように指導する。

- 我孫子市少年指導員が、関係機関と連携して街頭指導や一斉活動を行い、深夜徘徊等への帰宅指導や交通マナー遵守等の指導を行う。

こまったら おいでよ! こども110番の家

○「こども110番の家」は市PTA連絡協議会が提案、創設したものです。

近年の社会環境の悪化や人間関係の希薄化等に伴い、「子どもを変質者から守ろう」「安心して生活できる街づくり」を目的として、平成9年12月に市のPTA連絡協議会が提案し、創設されました。

これは子どもの避難場所を確保するというだけでなく、市民全体で子どもを見守ろうという意識の高揚を図る目的もありました。

我孫子市もこの趣旨に賛同し、少年センターを事務局として、パネルおよびステッカー費用を補助し、学校や防犯協議会等と連携するとともに、自治会等を通じ理解と協力・連携を呼びかけています。



【こども110番の家の利用状況】(29年度)

登録数	利用件数	利用状況								
		不審者	けが手当	トイレ利用	物の貸出			その他		
傘	電話				他	水飲	時間	他		
580	4,882	5	111	4010	18	88	5	198	142	305

全小学校で「誘拐防止教室」開催

4月20日(金)～4月26日(木)の期間において、市内の小学校1年生を対象に、「誘拐防止教室」が開催されました。警察と少年指導員が協力し、『イカのおすし』を、イラストを使いながら確認しました。子どもたちは、自分の身を守るために大切なことを、楽しく勉強しました。

ご家庭においても、身を守るためにどうしたらよいか、子どもと一緒に考え、話をしていただき、子どもたちの防犯意識を高めていってください。

また、不審者を発見した場合は、すぐに警察または少年センターまで連絡ください。



「連れ去り」防ぐ台言葉 イカのおすし

知らない人について **た**ずけない
 車や悪い誘いに **の**らない
 「たずけて」と **お**お声を上げる
すぐに逃げる
 大人の人に **し**らせる

一人では行動しないようにしましょう。イラストはイメージです。



小学1年生に「交通安全じゅうちょう」寄贈

今年度も、ボラス株式会社様より、市内小学校1年生に、「交通安全じゅうちょう」が寄贈されました。5月28日(月)に教育長室において、贈呈式が行われました。

また、本市の交通安全教育に多大な貢献をいただいているということで、倉部教育長からは感謝状が贈呈されました。

子どもたちが、このノートを手にするときに、少しでも交通安全について意識できるとよいと思います。

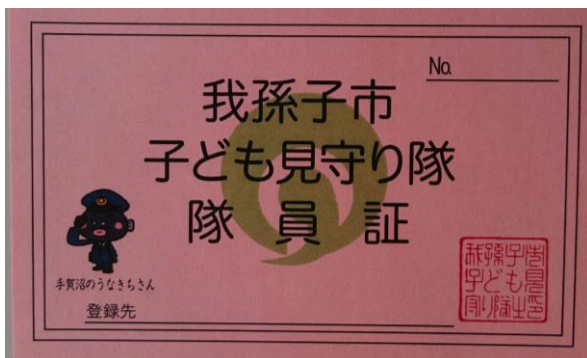


「我孫子市子ども見守り隊」を知っていますか？

昨年3月に、松戸市の小学3年生の女の子が、登校途中で誘拐され、殺害されるという悲しい事件が起きました。日本中の大人たちが、子どもの安全をどう守っていったらいいのか、真剣に考えさせられた事件でした。

我孫子市では、昨年10月に「我孫子市子ども見守り隊」が発足され、現在約2,200人の市民の方が登録しています。登録した方には隊員証が発行され、ネームホルダーに入れて首から下げて、子どもたちの登下校を見守っています。

これからも、多くの人たちの目で、子どもたちの安全を見守っていきたく思います。



自己肯定感の低い日本の子どもたち

日本の子どもたちの自己肯定感が低いことは、今までもいろいろな調査結果から言われています。昨年9～11月に日本、米国、中国、韓国4か国の高校生に調査した結果でも「私は価値のある人間だと思う」という項目に「そうだ」「まあそうだ」と答えた日本の高校生は44.9%でした。米国は83.8%、中国80.2%、韓国83.7%で、大きな差がありました。そのほかにも「つらいことがあっても乗り越えられる」「人とうまく協力できるほうだ」「体力に自信がある」という項目でも、日本は3か国より低い数値でした。

調査の中で、日本の高校生を対象に、インターネットの利用率と自己肯定感の関係についても分析されていますが、インターネットの利用時間が長い生徒は、自己肯定感が低くなる傾向がみられ、インターネットと自己肯定感の関連性に注目されていました。

情報化社会に生きる子どもたちにとって、インターネットは身近なものです。各ご家庭でもルールをつくって、上手に利用できると良いと思います。